

豊田市がさらに発展する原動力になると信じて

日頃より我々現役会員の運動へご理解、ご協力を賜っておりますことに心より御礼申し上げます。
2020年度の運動の根底にあるものは本年度のスローガンである「至誠を貫く」ことでした。私が掲げる「至誠」とは常に感謝の想いを忘れずに誰がために動くことです。おかげさまで新年賀詞交歓会において最高のスタートをきることができました。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、新しい生活様式の導入などにより当たり前のことを当たり前にできなくなり様々なことに対して葛藤しました。苦悩は将来に対して不安を抱き、我々現役会員にとっても非常に苦戦した年になったと言わざるを得ません。そんな中でもメンバー一人ひとりがアイデアを出し合って、つまづくことはあっても、歩みを止めることなく、この国難とも言える難局を正面から受け止め、様々な可能性、手法を見つけながら運動を展開し続けられました。新型コロナウイルス感染症が一般社団法人豊田青年会議所で猛威を振るうまでは。

11月初旬から新型コロナウイルス感染症が会員内で蔓延しました。特別会員の皆さま、ご家族、そして世間を大変騒がし、多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。しかしながらこのような中でも、特別会員の皆さまからいただいた温かい言葉やアドバイスは、励みとなり、勇気を与えてくれました。本当にありがとうございました。

2020年度は終わりを迎えますが、分岐点であると思います。この1年があったから意識や行動がわかり、新たなスタイルで運動発信が出来るはずです。何事かを成し遂げる人はどんな困難な状況に陥ろうとも諦めずにやり抜く人です。本年起きた苦難にすら感謝の気持ちを持ち、向き合うことで、豊田市がさらに発展する原動力になると信じております。今まで関わってくれた全ての方々に感謝を申し上げます。今後ますますの豊田のまちの発展と皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。



第61代理事長
池田 靖典

一般社団法人豊田青年会議所2021年度理事会構成メンバー紹介



＝一般社団法人豊田青年会議所2020年度例会・事業の報告＝

9月度
例会

STAY STRONG～実践者であれ～

9月16日WEB(WEBアプリZOOM)にて例会を開催しました。本例会では、「地域社会にSDGsの浸透する仕組みを構築し実践すること」をテーマに開催しました。講師を招いて行うのではなく、委員会メンバーがSDGsに取り組んでいるさまざまな企業や団体、自治体などを回り、取材をさせていただき、そして取り組みをメンバーに紹介する形にさせていただきました。各自治体や様々な職種によって、SDGsに取り組むメリット、取り組みに対する考え方、どのような取り組みを行っているのか。SDGsに取り組まれている皆様からの生の声を聞くことができました。それぞれ共通するポイントとして、地域をよくするため、地域貢献のために自治体や企業（行っている社業を通じ）SDGsを実践されていることに気付かされました。地域を良くしたい！地域に貢献をしたい！そんな、小さなきっかけからSDGsを意識して実践することの必要性を学ぶことができました。また、同時進行にて、コロナ禍において市民の方に元気を与え、大切な家族を思って「コロナに感染しない、させない」意識をもっていただくことを考えモザイクアートの製作事業を行いました。小学校や外部協力企業や団体に協力を募り1000名分の笑顔の写真を集め豊田市のシンボルである豊田大橋をモデルに作成することができました。このモザイクアートは豊田市駅前の参合館北側エレベーターのガラス面に2021年3月末まで展示させていただきます。



10月度
例会

VOTE みんなで投票しよう

10月23日 WEB (WEB アプリ ZOOM) にて例会を開催しました。本例会では、「青少年の健全で明るい未来へ向けた機会の提供」をテーマに開催しました。外部協力者には市内の高校生に働きかけ、若者の政治への関心を題材にインタビューし動画にて配信しました。メンバーの学びとしては、高校生の意見に触れて刺激を受け、我々（大人）がそれをフィードバックする手法を採用しました。高校生の生の声を聴き、我々（大人）との意見のギャップに気づき、そのギャップを埋めるためには、その意見を昇華し若者へフィードバックするの必要性を肌で感じる事ができました。若者が政治について興味をもつことができるように、つながりを大切にしていきたいと考えます。



10月度
事業

～「新しい生活様式」あたりまえをあたりまえに！～

今回の事業は、「市民との協働による、豊田が一つになる機会の創出」をテーマに、レゴブロックを使ってストップモーション動画を作成し、ひまわりネットワーク（ひまわりチャンネル）のCMとして10月12日から10月31日までの期間中に放映していただく形を事業として構築いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大が大きな影響を与え新しい生活様式が日常の一部となる中「当たり前」のことが重要であり、その徹底により流行を防ぐことができ、その為には意識だけではなく行動が必要であることを学びました。委員会メンバーを中心に多くの時間をかけ手作りで動画製作しました。楽しみやすさと目新しさをもって多くの各新聞社や広報とよなどのメディアにも取り上げていただくことができただけでなく、YouTube広告を用いた動画の拡散にも成功することができました。（一社）豊田青年会議所においても初の試みであり、拡散という観点では一定の成功を収めることができ、今後も本動画を有効活用いただくことで皆様のお役に立てればと思います。

今回作成した動画は、豊田青年会議所のホームページからご視聴いただけます。

（一社）豊田青年会議所 YouTube チャンネルより

「第1話 あたりまえをあたりまえに」「第2話 なにかもんだい これからどうする」



出向者
報告

藤本 亮志 愛知ブロック協議会 LOM 連携推進委員会 委員長



LOM連携推進委員会に出向させていただきました藤本です。委員会の役割は日本青年会議所と連携した拡大会議、災害ネットワークを活用した被災地支援、BCP策定セミナー、オンラインを活用したJCIプログラム講座、アワード愛知を開催しました。各地委員会との有益な情報を共有することを軸に活動してまいりました。この愛知県には、33の青年会議所があり約2000名の青年会議所メンバーが活動しております。今後の青年会議所活動に役立つ情報共有することができました。この一年間、多くのつながりができ、自身の成長の機会となりました。今後の活動も邁進してまいります。

AWARDS AICHI 2020

進化する JC☆組織改革部門最優秀賞を受賞

「AWARDS AICHI 2020」が開催され、一般社団法人豊田青年会議所としては【進化する JC☆組織改革部門】において2020年度の7月度例会「アクション～災害が起きた時あなたはどのようにする～」が部門最優秀賞を受賞しました。新型コロナウイルスの影響で、例年とは違い部門も3つとなりましたが、その中でも大岡委員長が行った例会が受賞することができました。セレモニーも WEB 開催で行われ、メンバー全員で同じ時を共有することはできませんでしたが、我々の事業や運動を広く発信する機会となり、さらなる（一社）豊田青年会議所活動の向上の機会となりました。

編集後記

広報戦略実践委員会 委員長・澤田 佳樹

本年も残すところ僅かとなり、（一社）豊田青年会議所におきましても本今年度が同時進行で動いており大変忙しい時期となりました。今年一年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症により当初予定していた事業や例会が思うように開催できず、苦難の一年となりました。しかし、そんなときこそ私達（一社）豊田青年会議所が一丸となり困難を乗り越えたいという思いを持ち活動して参りました。この広報紙を通じ、お支えいただいた諸先輩の皆様には感謝の気持ちしかありません。本当にありがとうございました。今後とも感謝の気持ちを忘れず、これからも地域のために邁進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



豊田JC

検索

ホームページ

<http://www.toyotajc.jp>

公式サイト



Facebook



Instagram



Twitter

